

国土交通省 石井 宏幸 上下水道審議官

本日、公益財団法人日本推進技術協会（中谷泰之会長）及び一般社団法人日本非開削技術協会（森田弘昭会長）より、本年1月に埼玉県八潮市で発生した下水道管路の破損に起因すると考えられる道路陥没を受けて設置された「下水道等に起因する大規模な道路陥没を踏まえた対策委員会」の第2次提言を踏まえ、非開削工法を活用した対策の推進に関する提案を頂きました。

これまでも、特に人口や交通量の多い都市部における下水道管路の整備には、推進工法やシールド工法などの非開削工法が使われてきていますが、第2次提言を踏まえて今後管路の二条化（複線化）などのリダンダンシーの向上が求められるなか、非開削工法はより一層活躍の場が広がるものと考えております。

国土交通省といたしましても、今後、国土強靱化のスピードアップのため、老朽化対策を含めた下水道の整備に非開削工法をより一層活用していくよう、強靱化計画に位置づけられた施策を含め、下水道事業の予算確保に努め、各下水道管理者及び非開削工法に関わる各団体とも連携させていただきながら、強靱で持続可能な上下水道システムを構築していく所存です。